

平成 18 年度 第 2 回 伊勢市国民保護協議会 議事概要

開催日時	平成 18 年 10 月 10 日（月） 13：30～14：12
開催場所	伊勢商工会議所 5 階 大ホール
出席委員数	国民保護協議会委員 37 名中、代理出席を含め、29 名出席
事 項	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 伊勢市国民保護計画（素案）について [資料 1]</p> <p>(2) 伊勢市国民保護計画（素案）に対する市民意見の反映について [資料 2]</p> <p>(3) 今後のスケジュールについて [資料 3]</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>
議 事 概 要	<p>(1) 伊勢市国民保護計画（素案）について</p> <p>（会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 前回の協議会で了承いただいたとおり、本日の会議は公開としており、その中で議事を進行する。 • 伊勢市国民保護計画（素案）は、さまざまな意見を基に実効性のある計画とするためのたたき台として審議してもらうものなので、よろしくお願ひしたい。 • 内容については、事務局から説明させてもらう。 <p>（資料説明）</p> <p>（会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 素案の内容について意見、質問等はないか。 <p>（委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 武力攻撃の中には、バイオテロも当然含んでいるという理解でよろしいか。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 12 ページにあるように、NBC 攻撃の部分に含まれている。 <p>（委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 情報収集というのは非常に難しく、混乱を招く一つの要因ではないかと思っている。例えば、発生前と発生後に分けて考えた場合、市の対策本部に事前情報の収集能力はほとんどないに等しく、行政の情報ネットワークに入ってくるよりも、報道関係で流れる情報のほうが早いということが多々ある。県から流れてくる情報とマスコミの流す情報で、情報の混乱が起こるのではないか。事前情報の収集能力がないので、国や県からの確かな情報を一元的にもらうシステムの構築が必要だろうと思う。 • 周囲の情勢的には理解し得るようなものになっているが、市民はなかなか身近な問題として捉えにくいと思うので、広報を徹底してやる必要があるし、情報をいかに管理して本部が市民に的確に届けるかということが必要ではないかと思う。 • 事案が発生した場合、各地域の被害や避難状況など諸々の情報は十分入ってくると思うが、問題は事前情報と考えているので、事務局に考えがあれば聞かせてほしい。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 情報の管理というのは大変重要な問題であり、難しいところがあると思っている。

- 市としては、やはり国からの情報、県からの情報を中心に、それを的確に受けて市民に情報を提供していくということが、一番の責務であると考えている。40ページにあるように、まずは危機対策本部を設置してそこで情報収集に努めて、十分検討して的確な情報を提供していく。

(委員)

- 地域にとけ込んでテロを起こすということもやはり考えなければいけない。そうすると、個人情報というものを伊勢市がどう考えるかという問題になってくる。テロを防ぐためには、ある程度プライバシーも犠牲にしなければならないかもしれないが、どこまでそれを許せるかという、市としての覚悟があるのではないかと思う。かなり難しい問題を秘めていると思うので、その辺の十分な研究をお願いしたい。

(会長)

- 市民から情報提供があった時に、こちらからどんなアクションを起こせるかといった視点だろうか。

(委員)

- 例えば、隣人の動きがおかしいといった情報提供があった時に、どの辺が収集・管理して、あるいは警察等に情報提供するのか。非常に難しいと思うが、どういうふうにしていくのか。

(事務局)

- 大変難しい問題であり、国民保護の関係では、例えば安否情報といった仕組みも書かれている。いずれにしても、適切な情報をあげていくということは非常に大事なことなので研究をさせてほしい。

(委員)

- 情報収集において、県は基本的に警報が出た場合、国の消防庁から情報を受け取って、それから市や町に流していくことになっている。ただ実際に攻められた後は、そうは言っても建物の被害など地元で指示をしなければならないし、外国からの情報についても自分で収集することになる。
- マスコミの情報が非常に早いということで、昨日も昼前には核実験のニュースが流れていたが、県が実際に情報をつかんで、各部署の危機管理責任者に「待機せよ」と流れたのが1時半ごろだったと思う。三重県に影響があるという情報をつかんだら、実際に危機管理連絡会議、場合によっては対策本部を設置するので、そういう心づもりをしておくように言われている。

(会長)

- マスコミ等を通じた報道で、もし自分たちの身にかかわるような情報が発信されたとしたら、その段階でたぶんスタートを切るんだろうと思う。そんな中で後追いになるかもしれないけど、どんな対応ができるのかといったところについて、ぜひこれからの会議で意見をいただきたい。
- 他に発言ないか。

(意見なし)

(会長)

- いただいた意見については、改めて事務局で検討し、市民からいただく意見とともに、中間案に反映させていきたいと思っているので、了解いただきたい。

- (2) 伊勢市国民保護計画（素案）に対する市民意見の反映について
(3) 今後のスケジュールについて

（会長）

- 事項2つ目と3つ目をまとめて議題とさせてもらう。
- 事務局から説明をお願いしたい。

（資料説明）

（会長）

- 資料2、資料3について意見、質問等はないか。

（意見なし）

（会長）

- 第3回は11月28日ということで予定しており、パブリックコメントを踏まえた中間案の議論を願いたいと考えている。
- 少し時間があるが、この際何か発言はないか。

（意見なし）

（会長）

- 特にないようなので、以上をもって第2回伊勢市国民保護協議会を終了する。第3回もよろしく願います。